

2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	24,121	4.9	5,167	21.8	4,802	△30.5	3,392	△32.9
2022年9月期第3四半期	22,988	△16.0	4,243	△41.8	6,915	△13.4	5,054	△11.4

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 3,919百万円 (△49.7%) 2022年9月期第3四半期 7,791百万円 (22.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	226.27	ー
2022年9月期第3四半期	337.17	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	69,537	48,323	69.4
2022年9月期	68,956	45,903	66.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 48,284百万円 2022年9月期 45,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	ー	0.00	ー	100.00	100.00
2023年9月期	ー	0.00	ー		
2023年9月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	12.3	6,500	17.0	7,000	△21.6	5,000	△18.4	333.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期3Q	15,348,720株	2022年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期3Q	357,391株	2022年9月期	357,308株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期3Q	14,991,360株	2022年9月期3Q	14,991,463株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年6月30日）の世界経済は、コロナ禍からの経済活動再開の動きが世界各地で本格化する一方、ロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料・エネルギー価格の高止まり、インフレ進行と金融引き締めに伴う景気減速懸念など、先行き不透明な状況で推移しました。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、事業活動は今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴の1ステップ成形機（以下、1ステップ機）の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図るとともに、金型交換時間短縮仕様搭載機の上市など、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題対応を含む幅広い用途への容器利用を企図して、高品質・高付加価値な容器成形法および新型機群の開発を強化しております。

販売面では、主力の1ステップ機を中心に競争力強化による市場喚起を図りました。特に、世界各地の主要展示会への出展を加速することで、グローバルでの営業活動を強化し、需要発掘に努めました。なお、当第3四半期に開催された「Chinaplas2023（中国）」および「interpack2023（ドイツ）」においては、当社独自技術による成形実演や新規多用途のサンプルボトルを多数展示した結果、多くの引き合いを得ており、早期の受注獲得に向け、営業活動を強化しております。

生産面では、グローバル生産体制の最適化を図るため、増産対応とリスク分散を進めております。具体的には、インド工場での成形機等の生産能力増強と納期短縮を図るべく、工作機械等への設備投資を行い、生産体制を強化しております。また、日本国内におきましては、将来の事業拡大に備え、本社工場近隣に新たな工場用地を取得し、より強固な生産体制の構築を検討しております。

環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、全世界において環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、昨年10月にドイツで開催された世界最大のプラスチック・ゴム展示会「K2022」で披露した4台の新技术は、顧客から大きな関心を集めており、持続可能なプラスチック容器市場へ拡大すべく、今後も技術開発を強化してまいります。

販売成績につきましては、海外展示会への出展を加速し、顧客との接点強化に努めたことにより、受注環境は堅調に推移しました。その結果、当期の受注高は25,042百万円（前年同期比106.6%）、受注残高も15,569百万円（前年同期末比122.7%）と前年同期を上回りました。また、売上高につきましては、豊富な受注残高を順調に消化した結果、24,121百万円（前年同期比104.9%）と過去2番目の高さとなりました。

利益面につきましては、為替相場が前年同期に比べ円安に推移したことに加え、原材料高に対応した柔軟な価格政策を継続した結果、売上総利益は11,341百万円（同112.2%）、営業利益は5,167百万円（同121.8%）とそれぞれ増加しました。一方で、上半期において急速に進行した為替相場の円高により、外貨建て債権債務に決済差損が生じ、営業外費用において為替差損を計上したため、経常利益は4,802百万円（同69.5%）と減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も3,392百万円（同67.1%）と減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	24,121	11,341	5,167	4,802	3,392
前第3四半期	22,988	10,110	4,243	6,915	5,054
前年同期比	104.9%	112.2%	121.8%	69.5%	67.1%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	11,813	7,487	1,411	3,409	24,121
前第3四半期	11,947	6,917	1,348	2,776	22,988
前年同期比	98.9%	108.2%	104.7%	122.8%	104.9%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が11,813百万円（前年同期比98.9%）と前年同期を下回ったものの、その他の製品は軒並み増加しました。特に、部品その他が3,409百万円（前年同期比122.8%）と過去最高となり、金型も7,487百万円（前年同期比108.2%）と過去2番目の高さとなるなど、アフターサービス強化の施策は着実に進展しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121
前第3四半期	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988
前年同期比	98.3%	122.0%	105.5%	101.4%	104.9%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	935	387	1,088	4,565	6,977
前第3四半期	862	337	721	4,366	6,286
前年同期比	108.6%	115.0%	150.9%	104.6%	111.0%

① 米州

米国経済には先行き不透明感が漂うものの、中南米地域の受注環境は堅調に推移しており、当期の受注高は7,364百万円（前年同期比102.6%）と前年同期を上回りました。売上高につきましては、好調なアフターサービス需要を背景に、金型および部品その他は増加したものの、成形機の売上減少もあり、地域全体の売上高は7,913百万円（前年同期比98.3%）と減少しました。一方、セグメント利益は製品ミックスの変化による利益改善等により935百万円（同108.6%）と増益となりました。

② 欧州

主要展示会で得た引き合いを収穫した結果、当期の受注高は5,799百万円（前年同期比112.5%）と過去最高となり、売上高も4,558百万円（前年同期比122.0%）と高水準となりました。セグメント利益も増収効果等により387百万円（同115.0%）と増益となりました。

③ 南・西アジア

インド国内市場が好調に推移した結果、当期の受注高は8,352百万円（前年同期比111.0%）と過去最高となり、売上高も7,500百万円（前年同期比105.5%）と過去2番目の高さとなりました。セグメント利益も増収効果等により1,088百万円（同150.9%）と増益となりました。

④ 東アジア

当期中に出展した中国展では多数の引き合いを得るなど、中国の受注環境には徐々に改善の兆しが見られるものの、日本国内では見込案件の契約期ずれの影響もあり、当期の受注高は3,525百万円（前年同期比96.8%）と前年同期を下回りました。一方、売上高につきましては、豊富な受注残高を消化した結果、地域全体の売上高は4,149百万円（前年同期比101.4%）と過去最高となりました。セグメント利益も増収効果等により4,565百万円（同104.6%）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	49,653	19,884	11,058	10,155	48,323
前連結会計年度	48,296	20,659	11,854	11,198	45,903

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,356百万円増加し、49,653百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ775百万円減少し、19,884百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ580百万円増加し、69,537百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ795百万円減少し、11,058百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,043百万円減少し、10,155百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ2,420百万円増加し、48,323百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月9日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,188	21,365
受取手形及び売掛金	6,687	6,296
商品及び製品	2,471	2,459
仕掛品	9,135	8,717
原材料及び貯蔵品	9,389	9,272
その他	1,485	1,614
貸倒引当金	△60	△72
流動資産合計	48,296	49,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,665	5,478
機械装置及び運搬具（純額）	6,466	6,285
土地	1,980	1,988
その他（純額）	4,323	3,907
有形固定資産合計	18,436	17,659
無形固定資産	111	96
投資その他の資産		
投資有価証券	277	386
その他	1,959	1,865
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	2,112	2,127
固定資産合計	20,659	19,884
資産合計	68,956	69,537

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,685	2,056
短期借入金	1,805	1,493
未払法人税等	1,704	235
契約負債	4,038	4,414
賞与引当金	643	710
役員賞与引当金	53	29
その他	1,923	2,118
流動負債合計	11,854	11,058
固定負債		
長期借入金	9,105	7,985
役員退職慰労引当金	534	562
退職給付に係る負債	833	837
その他	725	770
固定負債合計	11,198	10,155
負債合計	23,053	21,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	38,098	39,991
自己株式	△301	△301
株主資本合計	44,854	46,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	142
為替換算調整勘定	979	1,412
退職給付に係る調整累計額	△20	△18
その他の包括利益累計額合計	1,010	1,536
非支配株主持分	37	39
純資産合計	45,903	48,323
負債純資産合計	68,956	69,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	22,988	24,121
売上原価	12,878	12,779
売上総利益	10,110	11,341
販売費及び一般管理費	5,866	6,174
営業利益	4,243	5,167
営業外収益		
受取利息	120	184
受取配当金	8	9
為替差益	2,497	—
受取手数料	—	106
その他	107	51
営業外収益合計	2,734	353
営業外費用		
支払利息	30	23
為替差損	—	487
訴訟関連費用	9	116
その他	22	90
営業外費用合計	63	717
経常利益	6,915	4,802
税金等調整前四半期純利益	6,915	4,802
法人税、住民税及び事業税	1,687	1,308
法人税等調整額	167	103
法人税等合計	1,854	1,411
四半期純利益	5,060	3,391
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	5	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,054	3,392

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,060	3,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	90
為替換算調整勘定	2,692	436
退職給付に係る調整額	3	2
その他の包括利益合計	2,731	528
四半期包括利益	7,791	3,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,780	3,918
非支配株主に係る四半期包括利益	10	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988	—	22,988
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,049	3,737	7,108	4,092	22,988	—	22,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	7	5,752	11,565	17,388	△17,388	—
計	8,112	3,744	12,861	15,658	40,376	△17,388	22,988
セグメント利益	862	337	721	4,366	6,286	△2,042	4,243

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,042百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,231百万円、セグメント間取引消去188百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121	—	24,121
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,913	4,558	7,500	4,149	24,121	—	24,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	34	6,473	12,091	18,652	△18,652	—
計	7,966	4,593	13,973	16,240	42,773	△18,652	24,121
セグメント利益	935	387	1,088	4,565	6,977	△1,810	5,167

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,810百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,058百万円、セグメント間取引消去248百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	12,069	7,053	11,824	8,086	98.0	114.6
金型	7,265	4,493	8,590	6,305	118.2	140.3
付属機器	1,356	976	1,228	992	90.6	101.7
部品その他	2,809	161	3,398	184	121.0	114.5
合計	23,500	12,685	25,042	15,569	106.6	122.7

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	7,179	3,474	7,364	4,003	102.6	115.2
欧州	5,154	2,810	5,799	3,145	112.5	111.9
南・西アジア	7,523	4,069	8,352	4,752	111.0	116.8
東アジア	3,643	2,330	3,525	3,667	96.8	157.4
合計	23,500	12,685	25,042	15,569	106.6	122.7

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	11,947	52.0	11,813	49.0	98.9
金型	6,917	30.1	7,487	31.0	108.2
付属機器	1,348	5.8	1,411	5.9	104.7
部品その他	2,776	12.1	3,409	14.1	122.8
合計	22,988	100.0	24,121	100.0	104.9

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	8,049	35.0	7,913	32.8	98.3
欧州	3,737	16.3	4,558	18.9	122.0
南・西アジア	7,108	30.9	7,500	31.1	105.5
東アジア	4,092	17.8	4,149	17.2	101.4
合計	22,988	100.0	24,121	100.00	104.9